

二〇二〇年二月一日(参加者二名)

冬ざれの風情また良しわが狭庭	明日香
店訪へばシャッター閉ざし冬ざるる	たか子
灯台にしぶく白波冬ざるる	かかし
湯たんぽのカバーのパンダ抱き寝る子	うつぎ
なぞなぞの姉妹一つの湯たんぽに	よう子
冬ざるる倒れしままの売地札	満天
冬ざれの庭にころがる如雨露かな	なつき
湯たんぽはペットボトルにタオル巻	こすもす
湯たんぽを抱けば母の温みあり	みづき
冬ざるる宮址といへど礎石のみ	はく子
冬ざれや漂着缶のハングル語	やよい
滝跡の黒々として冬ざるる	たか子
墨うすれ読めぬ扁額冬ざるる	明日香

冬ざれや錆にさびたる廃線路  
智恵子

湯たんぽや昭和の薄き敷布団  
小袖

丁目石朽葉に埋もれ冬ざるる  
わかば

湯たんぽの栓確かむる二度三度  
うつぎ

流木や広き河原の冬ざれて  
明日香

湯婆を抱く児を抱きて添ひ寝かな  
なつき

気遣ひの湯たんぽ嬉し里泊り  
よう子

WEB句会みのる選・二〇二〇年二月一日